所要安定調達額（NSFR）の遵守状況に関する報告書

銀行名： PT Bank JTrust Indonesia Tbk

報告対象月： 2026年9月

A. NSFRの計算

（単位：百万ルピア）

	利用可能な安定調達額（Available Stable Funding: ASF）の構成要素	2026年6月					2026年9月				
		残存期間に基づく帳簿価額（単位：百万ルピア）				加重合計額	残存期間に基づく帳簿価額（単位：百万ルピア）				加重合計額
		期間の定めなし[1]	6ヶ月未満	6ヶ月以上1年未満	1年以上		期間の定めなし[1]	6ヶ月未満	6ヶ月以上1年未満	1年以上	
1	資本：	13,343,540	-	-	-	13,343,540	13,351,557	-	-	-	13,351,557
2	KPMM（最低資本組入率）に関するPOJKに拠る資本	13,343,540	-	-	-	13,343,540	13,351,557	-	-	-	13,351,557
3	その他の資本性金融商品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	個人顧客からの預金および小規模・マイクロ事業者からの資金調達：	2,184,555	9,776,835	692,478	6,153	11,456,984	1,648,334	11,018,209	185,849.96	773,980.38	12,399,429
5	安定預金および安定資金調達	1,180,269	65,841	894.28	30.00	1,184,684	1,088,749	74,044	3,115.61	-	1,107,613
6	非安定預金および非安定資金調達	1,004,286	9,710,994	691,584	6,123	10,272,300	559,585	10,944,165	182,734	773,980	11,291,816
7	法人顧客からの資金調達：	7,788,352	13,870,167	662,445	10,362	1,471,165	3,091,519	16,555,884	2,560,516	1,230,839	9,968,742
8	運営用預金（オペレーショナル預金）	2,259,160	-	-	-	1,129,580	726,433	-	-	-	363,217
9	法人顧客からのその他の資金調達	5,529,192	13,870,167	662,445	10,362	341,585	2,365,086	16,555,884	2,560,516	1,230,839	9,605,526
10	相互依存性のある資産と対をなす負債（相互依存負債）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	その他の負債および資本：	-	235,000.00	-	437,600.00	437,600.00	-	310,000.00	-	437,500.00	437,500.00
12	NSFRデリバティブ負債				-						
13	上記のカテゴリーに含まれないその他の資本および負債	-	235,000.00	-	437,600.00	437,600	-	310,000	-	437,500	437,500
14	**利用可能安定調達額（ASF）合計**					**26,709,289.68**					**36,157,228.06**

	所要安定調達額（Required Stable Funding: RSF）の構成要素	2026年6月					2026年9月				
		残存期間に基づく帳簿価額（単位：百万ルピア）				加重合計額	残存期間に基づく帳簿価額（単位：百万ルピア）				加重合計額
		期間の定めなし[1]	6ヶ月未満	6ヶ月以上1年未満	1年以上		期間の定めなし[1]	6ヶ月未満	6ヶ月以上1年未満	1年以上	
15	NSFRの算定におけるHQLAの総額					177,598					180,196
16	業務上の目的で金融機関に預けている預金	496,723	-	-	-	248,361	552,185	-	-	-	276,092
17	「正常」および「特別管理」に分類される貸付金（パフォーミング）	-	8,941,684	7,674,252	14,937,662	19,928,098	-	13,451,140	3,515,328	15,422,812	20,942,269
18	レベル1のHQLAで担保されている金融機関に対し	-	-	-	-	-	-	382,357	159,669	211,549	329,620
19	レベル1のHQLAによる担保が付いていない金融機関への貸付、および担保のない金融機関への貸付	-	899	-	-	135	-	812,021	190,962	2,576,667	2,793,951
20	非金融企業、個人顧客、小規模・マイクロ事業者、中央政府、他国の政府、インドネシア中央銀行、他国の銀行、および公共部門の機関。具体的には以下の通り：	-	8,672,650	7,139,793	14,446,239	18,997,009	-	12,256,576	3,007,337	12,463,023	16,560,531
21	OJKのATMRに関する通達に基づき、リスク・ウェイト35%以下の適用要件を満たすもの	-	8,672,650	7,139,793	14,446,239	-	-	12,256,576	3,007,337	12,463,023	769,815
22	現在担保として差し入れられていない住宅担保ローン。その中には以下のものが含まれる：	-	-	-	491,423	417,709	-	186	844	171,573	146,352
23	OJKのATMRに関する通達に基づき、リスク・ウェイト35%以下の適用要件を満たすもの	-	-	-	491,423	111,948	-	186	844	171,573	263,743
24	「流動性あり」および「流動性やや低い」（performing）に分類される有価証券で、担保に供されておらず、債務不履行に陥っておらず、かつHQLAに該当しないもの。これには、取引所で取引されている株式も含まれる	-	268,134	534,460	-	401,297	-	-	156,516	-	78,258
25	相互に依存する負債と対をなす資産（相互依存資産）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	その他の資産：	15,998,503	1,022,018	2,920	238,260	4,266,934	12,188,674	1,251,244	1,554	493,578	13,934,300
27	取引対象となる現物商品には、金が含まれる（コモディティ）	-				-	-				-
28	デリバティブ取引の初期証拠金（イニシャル・マージン）として計上されている現金、有価証券およびその他の資産、ならびに中央清算機関（CCP）に拠出されたデフォルト・ファンド（清算基金）として拠出された現金またはその他の資産				-	-					4,250
29	NSFRにおけるデリバティブ資産（または派生商品資産）				-	5,143					-
30	変動証拠金（バリエーション・マージン）控除前のデリバティブ負債に対するNSFR				-	-					-
31	上記のいずれのカテゴリーにも該当しないその他のすべての資産	15,998,503	1,016,875	2,920	238,260	4,261,791	12,188,674	1,251,244	1,554	488,578	13,930,050
32	偶発債務勘定（オフバランス勘定）				-	10,513					5,748
33	**総所要安定調達額（Total Required Stable Funding）**					**24,631,505.30**					**35,338,604.39**
34	**所要安定調達比率（Net Stable Funding Ratio（%））**					**108.44%**					**102.32%**

安定調達比率（ネット・ステーブル・ファンディング・レシオ：NSFR）充足義務に関する報告書

銀行名：PT. Bank JTrust Indonesia, Tbk

報告月：2026 年 9 月

B. NSFR 推移分析

商業銀行における安定調達比率（ネット・ステーブル・ファンディング・レシオ）充足義務に関する金融庁規則第 50/POJK.03/2017 号の改正に関する 2024 年第 20 号インドネシア共和国金融庁規則に基づき、以下の通り報告いたします。

1. 2026 年 9 月期の当行の NSFR 算出結果は 102.32%であり、2026 年 6 月期と比較して↓6.12%低下しました。利用可能な安定調達額（ASF）および所要安定調達額（RSF）は、それぞれ 36.16 兆ルピアおよび 35.34 兆ルピアです。
2. 当行の NSFR 比率は、2026 年 6 月末時点から↓6.12%低下しました。この低下は、所要安定調達額（RSF）構成要素が 10.7 兆ルピア（↑43.47%）増加したことによるものです。これは主に資本控除項目の価値算出の調整によるものであり、これに伴い、資金調達セグメンテーションの調整により、利用可能な安定調達額（ASF）構成要素も 9.45 兆ルピア（↑35.37%）増加しました。これは、レビュープロセスを通じたリスク管理の質的向上を支援するためのものです。今後の当行の戦略として、特に期間の定めのない資金調達セグメンテーションからの安定した低コストの資金調達の増加を引き続き目指します。
3. 2026 年 9 月の当行の第三者預金（DPK）の大部分は、期間の定めのある資金調達によるものであり、その割合は 88.86%に達します。この資金調達の構成は以下の表の通りです。

表 1. 当行の資金調達構成（2026 年 9 月 30 日時点）

	安定/営業	非安定/非営業
期間の定めなし	8.11%	3.02%
期間の定めあり	49.74%	39.12%
合計	57.86%	42.14%

4. 当行は、特定の資産と依存関係を持つ負債を有しておらず、同様に、相互に依存する負債と対になる資産も有していません。

B. NSFR 推移分析
5. 全体として、J トラスト銀行インドネシアの NSFR は、金融庁（OJK）が規定する最低基準である 100%を上回っています。
流動性リスクプロファイルで報告した通りの当行の**流動性管理の適用**には、以下の事項が含まれます。 1. リスクガバナンスにおいて、監査役会および取締役会は、明確かつ独立した任務と責任を持つ ALCO（資産負債委員会）および RMC（リスクモニタリング委員会）を通じて、流動性リスク管理に関する認識を有しています。 2. 当行のリスク管理フレームワークには、緊急時の資金調達計画（CFP）、ALCO および RMC を通じた流動性限度額の監督と報告、流動性のポジションおよびリスクの管理、ならびに資金調達戦略、方針/手順、および定期的に監視・レビューされる流動性リスクの限度額が備わっています。 3. 当行は、流動性リスク管理プロセス、独立した人材、および流動性管理情報システムを保持し、適用しています。 4. 当行は、営業部門や事業部門（Line of Business）から独立したリスク管理部門、コンプライアンス部門、および内部監査を通じた十分なリスク管理システムを備えています。